

「カレッジ長大&私のみらい選択」 教育プログラム

～人と社会の成長を目指して～



石合昌史氏(2025年度カレッジ長大受講者) テーマ「みんなそれぞれ違う考え」

※同作品は、石合さんが一筆書きで作られています。

一般財団法人三菱みらい育成財団 大学・NPO等で行う「21世紀型教養教育プログラム」

学生スタッフ

松倉りお／阿部真歩／南沢佑布子／中川真実／田森咲鳴／鈴木綾花／成沢久留美／澤田夕嬉／齊藤優美／大橋温仁／青木夢花
橋本瑛平／小山葵／小野田彩花／佐度明日菜／生越愛望／中野日葉里／荒濱遼太郎／森隆之助／中原蒼生／正村優里／小林凜

教員等スタッフ

宮本秀樹／鈴木由美子／飯塚秀彦／羽田司／鈴木忠義／教育支援担当／地域づくり総合センター



カレッジ長大 ～学びは続くよ、いつまでも、どこまでも～

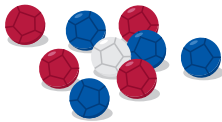
開校式。「9ヶ月ぶりの再会だね。まずは名札づくりから」



最初の協力。
5つのパーツに分かれた正方形作りのワークです

9月

再会、出会いと交流



「カレッジ長大でスポーツといえば、ボッチャだね。安全で、誰でも楽しめて、国民的スポーツだね」



10月

そば打ち体験

「さあ、同じ太さに切らなくちゃ。これが中々難しい」



そば打ちって、重労働です



📢 受講者の声

Q 「そば」と言えば？

ゆでそば、乾麺、カップ蕎麦

Q 「そば打ち」をした感想は？

そば打ち体験は難しかったけど、リズムに乗って作るのが楽しかった。



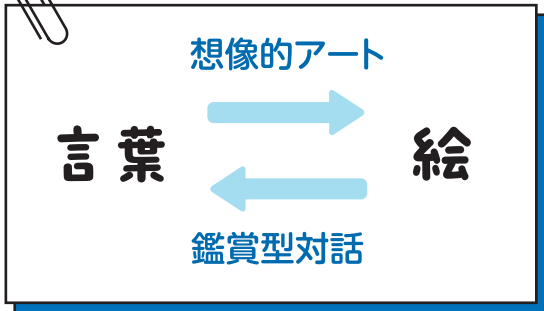
11月

哲学カフェ、オープン!!!

「正解のない問い」に受講者と学生達が一緒に取り組みました。

想像的アート

～経験と想像力をベースにした絵づくりワーク～



鑑賞型対話

～一緒に絵、写真を見て、ストーリーを創ろう!～



- ・絵や写真を**観る**(鑑賞・観察)。
- ・全体的にそれが何であるかを**想像する**(想像・仮説)。
- ・あらためて見えているもの、見えていないものを**出し合う**(拡散)。
- ・言語化したものをつなぎ合わせ、グループごとに**ストーリーを作る**(収束と創造)。

「見えているものはこれで、見えていないものはあれで…」

12月

成果発表会

受講者と学生達とが協同でアウトプットする場

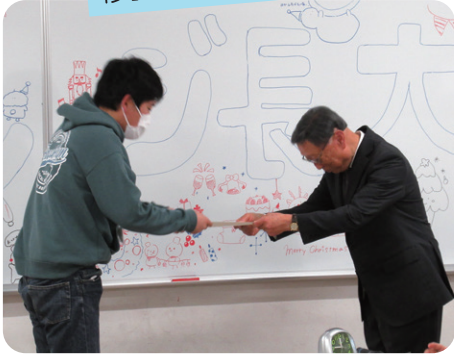
テーマ 「感情体験の見える化チャレンジ」 (「感情」と「その体験」をストーリー化する試み)



「経験を積むことは、成長の原点であり、このことが私の学びになって…」

修了式

9名の受講者が学長より修了証書を受け取りました



クリスマス会

カレッジ長大の楽しい振り返りと次の再会を胸に秘めて。

私のみらい選択 ~選ぶの、選ばれるの?!

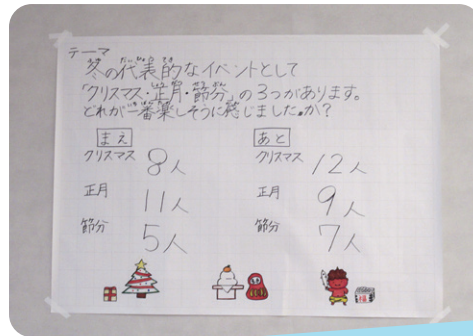
1月

暮らし編(縦の木福祉会)

～身近なものを選ぶワークショップ～



「私がなりたい動物であるウサギには、こんな良さがあり…」



プレゼンテーションのbefore・after



「どの説明が心に響きましたか?」
「説明で分かりにくかったところはありましたか?」

2月

主権者教育編(まるこ福祉会)

～学生も障害当事者も同じ有権者。1人1票～

「私が上ノ田市長に
当選した時には…」

**選ばれるの?!
選ばれないの?!**

**長野大学生×障害当事者
～模擬投票で学ぶ主権者教育プログラム～**

★上ノ田市長選挙模擬投票
～「サインはV」選挙～

■2026年2月10日(火)
13:00-15:00
※模擬投票の2日間です!

●まるこ福祉会
上田市長選885-3 200268-71-6263

★まるこ福祉会利用者の
皆様へ

■長野大学の学生達3人が上ノ田市長選挙に立候補しました。

●3人の話を聞いてください。上ノ田市長に最もふさわしいと思う人に投票してください。

花塚にこ (おひのりまじかにかな)



榎家 絵路美 (はなけい まどろみ)
(今日こそ学びたい気持ちがある)



栗野はるひ (やしい はるひ)



★このイベントで体験できること

- 大学生が立候補者になって立会演説会を実施!
- 実際の投票と同じ流れで模擬投票を体験!
- 大学生と障害当事者が投票結果について交流!

主催：長野大学「カレッジ長大&私のみらい選択」プログラム
問い合わせ先：長野大学 宮本秀樹研究室
電話) 0268-39-0001(代)
E-Mail) hideki@miyamoto@nagano.ac.jp

その他：本企画は、三菱みらい育成財団の助成事業です

相手に届く、
選んでもらう言葉や
絵のプレゼンテーションを
重ねてきました。
3人とも18歳です。



「大切な一票。
そしてこれが「私の選択」



協力障害当事者の評価

当事者の口から頻りに出てきた単語は、投票の、人への「体験としての緊張」でした。と同時に「公約がわかりやすかったので、本当に市長になってもらいたい!!!」。《伝わる言葉》に対するエールをいただきました。



同教育プログラムの背景数字

■ 特別支援学校の進路(長野県)

令和6年度
特別支援学校高等部卒業者の進路状況

→ 進学 **0.8%**

(出典:長野県教育委員会特別支援教育課)



■ 生涯学習にかかる障害当事者の活動実態、ニーズ等について

生涯学習の機会の
充足度

機会のある割合
38.2%

機会のない割合
38.5%

現在の生涯学習の
取組状況

取り組んでいる割合
20.7%

取り組んでいない割合
79.3%

生涯学習の取り組んで
いない理由

どのような学習が
あるのか、知らない

55.8%

(出典:令和4年度「障害者本人を対象とした実態調査」(文部科学省委託事業))

■ 若者の投票率(%)

選挙	18歳	19歳	全体
第50回衆院選 2024年10月	48.32	30.43	53.85
第27回参院選 2025年 7月	45.78	37.63	58.51

(出典:総務省)

■ 障害者の投票率(狛江市) (%) 2023年4月の統一地方選挙 「我が国で初めての障害者の投票率」調査結果

	有権者数	投票者数	投票率
全有権者数	68,518人	34,749人	50.72
知的障害	281人	106人	37.72

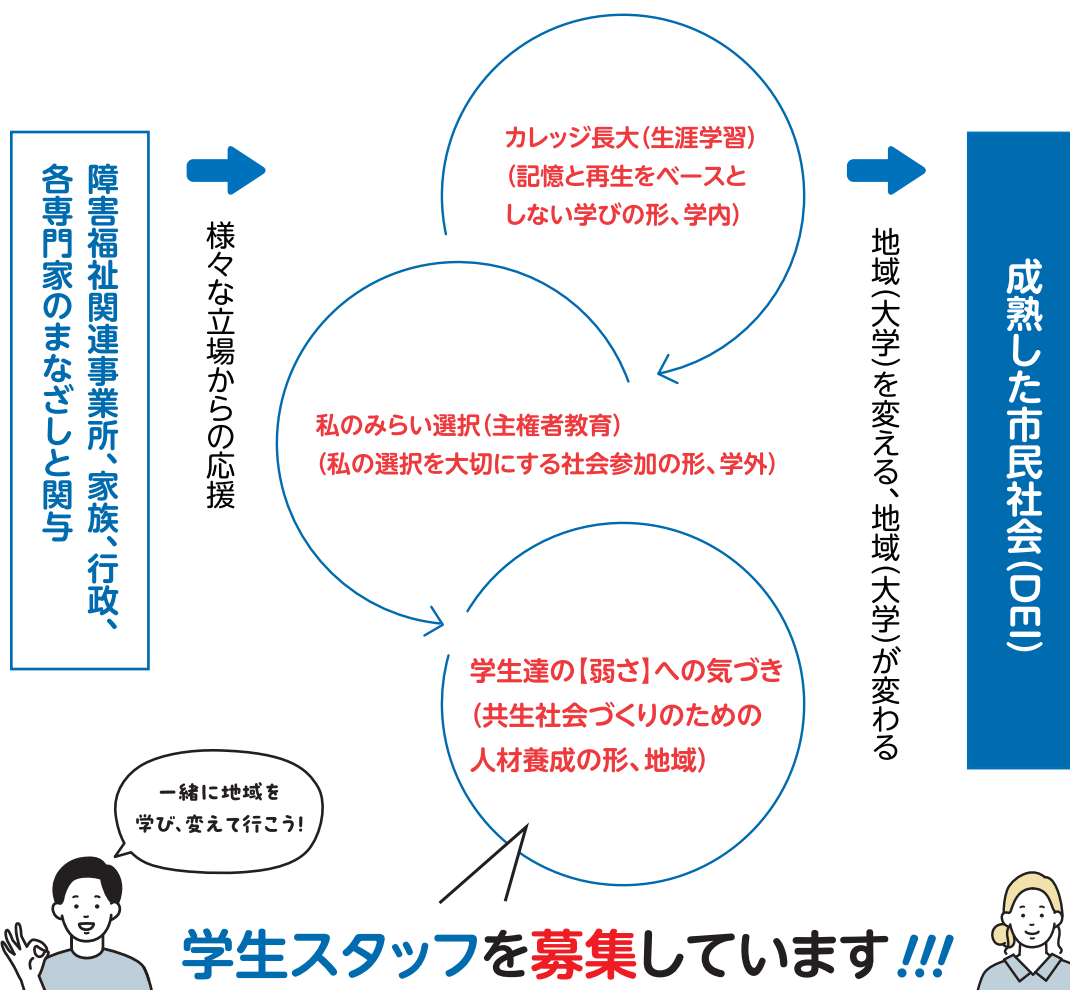
(出典:狛江市)



障害者の投票支援(≒主権者教育)を進めている狛江市副市長の平林浩一

「その人の選んだ結果が、その人にとっての『正しい選択』なのです」(『朝日新聞』朝刊、2023年10月7日)

「問いと選択」「弱さへのまなざしと共感」プログラムと未来社会



カレッジ長大がなければ、大学に来ることもなかった、また大学生と交流することもなかった障害当事者がいる。私のみらい選択では、逆に学生達が地域に出かけて、新しい障害当事者と出会い、交流する機会が作られる。このような形で大学と地域との相互作用にかかる効果として、「地域(大学)を変える、地域(大学)が変わる」が現れてくる。その先には、安全・安心・well-beingを基盤とする成熟した市民社会(DEI)の一つの形がある。



公立大学法人
長野大学

カレッジ長大&私のみらい選択プログラム
(一般財団法人三菱みらい育成財団・助成プログラム)

お問い合わせ先

〈特任教授〉宮本 秀樹

地域づくり総合センター

E-mail. hideki-miyamoto@nagano.ac.jp

E-mail. renkei@nagano.ac.jp

☎ 0268-39-0007